

紫の上と女三の宮 —光源氏の選択—

光源氏は紫の上を大切にしながら、女三の宮の降嫁を受け入れる。これによって紫の上の苦悩は深いものの毅然とした姿を貫く。光源氏は悩みながらも紫の上に対する愛情を深めることになる。

講師

信州大学学術研究院教育学系

教授 西 一夫先生



【講師紹介】

筑波大学文芸・言語研究科博士課程を修了し、文学博士を取得される。

現在、信州大学学術研究院教育学系教授。

ご著書『萬葉後期の狩りの歌一家持の「詠白大鷹歌」をめづつて』（笠間書院）、『「伝統的な言語文化」の指導—学習内容と学習活動の系統化をはかるために』（教育出版）などがある。

日時：令和7年3月2日(日) 午後2時～4時

場 所： 中野市立図書館2階AVホール

定 員： 70名

参加費： 無料

申込受付開始：2月12日(水)午前9時

申込方法：チラシに付いている参加申込書にご記入いただき、中野市立図書館のカウンターへお申し込みください。電話(FAX可)でも受け付けます。定員になり次第、締め切らせていただきます。

※参加申込書の情報は、図書館文学講座及び中野市立図書館における講座の開催案内以外には使用しません。

※図書館駐車場が満車の場合は、ひまわり保育園駐車場をご利用ください。

問い合わせ先 中野市立図書館

電話 0269-26-5841

キ リ ト リ 線

令和6年度図書館古典文学講座 「紫の上と女三の宮—光源氏の選択—」 参加申込書

お名前		電話番号	-	-
ご住所	〒			